



Annual Report

2020

musubie

こども食堂の
支援を通じて、
誰も取りこぼさない
社会をつくる。



NPO法人 全国こども食堂支援センター

むすびえ

2020年度活動報告書



Our Dream

むすびえの
目指す地域は
こんな感じ

私たちの夢



「あっちにもこっちにも子ども食堂」

そんなやさしい未来をつくれたら、
毎日はもっとステキになると思う。

だれがやってもいい。だれが行ってもいい。
どこではじめてもいい。どんな形だっていい。

おいしくてたのしくて。いつもだれかがそこにいる。
ヒナタにいるみたいにふしぎと元気がわいてくる。

そんな居場所がある幸せを
全力であたりまえにしていこう。

musubie

Annual Report 2020

目次

Index

- 2 …… 私たちの夢 あっちにもこっちにもこども食堂

- 4 …… 01 | コロナとこども食堂・社会と
こども食堂の位置付けなど

- 6 …… 02 | 私たちの取り組み

- 8 …… 03 | 企業・団体からの支援

- 10 …… 04 | 応援してくださっている
みなさま

- 11 …… 05 | 財務報告

- 12 …… 06 | メンバーからのメッセージ

- 14 …… 07 | 理事長からのメッセージ

- 15 …… むすびえについて

コロナとこども食堂・社会とこども食堂の位置付けなど

Positioning

こども食堂は「密」な場所でした。望ましい状態は、「0歳から100歳までが集まるごちゃまぜの空間」になること、「地域みんなの居場所」となること。こども食堂は密を作りたい人たちの集まりでした。

なぜか。日本の地域と社会が「疎」に向かっていたからです。家では高齢者がお一人で暮らしている、隣の家はしばらく前から空き家だ、商店街はシャッター通りとなってしまった、小学校は統廃合されてしまった、自治会もかつてのようには活動していない、子ども会に至っては解散してしまった……それがコロナ前の日本の風景でした。さびしくなった地域に活気を取り戻したい、自分たちの地域は自分たちでよくしたい——そうやって日本全国、津々浦々に広がってきたのがこども食堂でした。日本全国、津々浦々まで似たような状況だったからです。

物理的に疎(すかすか)になっていくだけでなく、精神的にも人と人のつながりを実感しにくくなる(人間関係が「疎」になる)。この状態は「無縁社会」と名付けられました。2010年代冒頭のことです。

コロナはその密こそがNGだと、狙い撃ちしてきました。さびしくなっていく日本の地域と社会に追い討ちをかけるように。だからこども食堂の人たちは「ふんばり」ました。ただでさえさびしくなっていく地域を、「疎」に向かっていた地域を、なんとかしようとしたいと、もともとそのように考えていた人たちだからです。結果として、半数以上のこども食堂が、何らかの形で活動を続けました。

こども食堂の奮闘を日本社会の大きな流れに位置付けたとき、見えてくるのはそうしたストーリーです。

2010年代を振り返るときにもう一つ忘れてならないのが災害です。2010年代は東日本大震災の記憶、そして毎年のように起こる水害の記憶と切り離すことができません。私たちの日常は災害と隣り合わせにある。今一緒にいる人と明日も一緒にいられるとは限らない。災害とともにある日常を考えたときに出てきたのがwith災害とも言うべき「減災」でした。災害をゼロにはできない、災害があっても壊れない日常を作ろう、災害に強い地域を作ろう、ということです。これが現在のwithコロナ、新しい日常(ニューノーマル)につながります。



だからこども食堂は、平時のつながりと非常時のつながりを区別しませんでした。平時のつながりが災害時に生かされ、広範な食材・弁当配布活動に結実しました。それどころか、そもそもこども食堂は、災害のたびに、災害に見舞われた地域で増えてきました。病気のときに健康のありがたみを痛感するように、非常時こそ平時のつながりの大切さを痛感するからです。

災害多発列島としての日本に位置づけたときに見えてくるストーリーは、このようなものです。

2010年代に生まれ、広がってきたこども食堂は、2010年代の日本を特徴づける大文字の社会課題（人口減少や災害等）に対する市井の人々の応答（課題解決策）でした。こども食堂の人たちが大文字の社会課題を大上段に語ることはほとんどありませんが、私たちの日常はこれらの諸課題とともにあり、そして人々には、それに対して自分ができることに着手し、形にする力があります。こども食堂はその「形」であり、こども食堂の広がり、人々の「力」を示しています。

私たちが、こども食堂を広げる取組みは「未来をつくる社会活動」（むすびえミッション）だと表現しているのは、そのためです。



私たちの取り組み

Approach

2020年、むすびえは調査・研究事業となる箇所数調査や多くの企業との連携など、数多くのプロジェクトを通して子ども食堂をサポートしてまいりました。

「子ども食堂・フードパントリー開設簡易ハンドブック」作成



コロナに負けない！梅雨にも負けない！一人でも多くの子どもを支えるために、支える人に安心を

Gaccom・むすびえ 子ども食堂マップ公開



チャイルドライン×子ども食堂「夏休み明けがゆううつな子どもに届けたい～微力でも、できることを～」

コロナ禍に負けず、地域全体で子どもを見守るために～見守り強化事業促進オンラインセミナー

2020

4月

5月

6月

7月

8月

9月

子ども食堂困りごとアンケート

むすびえ・子ども食堂基金創設

緊急事態宣言下で迎える「こどもの日」子どもを支え、地域の飲食店を支える子ども食堂を応援



緊急・食中毒対応保険加入助成

子どもを守る。みんなを守る。「子ども食堂防災マニュアル」

with コロナ時代の居場所とつながり～一歩を踏み出す、一緒に踏み出す～

子ども食堂防災マニュアル▶



MESSAGE

2020年コロナ禍に翻弄され、市内の子ども食堂も開催できなくなり、活動のあり方、手法も問われた年でした。子どもたち、地域の方、コロナ禍で困ってしまった方に「向き合い、寄り添う」選択をし、自分たちに今できることに取り組んできました。食料配布もその一つ。一人でも一つでも多く届けたいという食堂をフードバンクとして応援する中で、むすびえさまを通して企業からの食品提供にとっても助けられました。また休眠預金コロナ緊急枠の実行団体となったことで、子ども食堂の課題に向き合うなど新しい視点で活動を支える翼を与えていただいたように思います。

一般社団法人フードバンク八王子 理事 川久保美紀子



子ども食堂の中間支援を始めて5年、堺市では60近い子ども食堂と連携し持続可能な子ども食堂の運営に取り組んでいます。子ども食堂は多種多様、自由闊達などの特徴から、当会では子ども食堂をつなげる、応援の輪をひろげる、安心できる活動への支援に力点を置いています。「むすびえ」は全国の中間支援団体に支援を行っている唯一無二の団体です。引続き子ども食堂の価値を高め、広げる活動をけん引していただきますようお願いいたします。

社会福祉法人 堺市社会福祉協議会
地域福祉課長 所 正文



コロナ禍に負けず、地域全体で子どもを見守るために～見守り強化事業促進オンラインセミナー（共催：こども宅食応援団）

「ありがとう」キャンペーン実施

はるな愛「サンタアクション」実施

「むすびえのこども食堂白書：地域インフラとしての定着をめざして」刊行

全国箇所数調査2020発表&感染症対策宣言シート発表

「イオンこども食堂応援団」はじまる

むすびえ・こども食堂基金 活動報告会 ―コロナ禍のこども食堂の活動をふまえ、改めて考える役割と未来への展望―



イオンこども食堂応援団



「ありがとう」キャンペーン



はるな愛「サンタアクション」実施



感染症対策宣言シート



こども食堂基金 活動報告

こども食堂・個別相談会 開催

2021

10月

11月

12月

1月

2月

3月

あっちにもこっちにもこども食堂

こども食堂が、あたりまえにある街



「あっちにもこっちにもこども食堂」公開

むすびえ・休眠預金新型コロナウイルス対応緊急支援助成

◀あっちにもこっちにもこども食堂 イメージイラスト



こども食堂のラジオ・ごちそうさま! スタート

「孤独・孤立を防ぎ、不安に寄り添い、つながるための緊急フォーラム」開催

MESSAGE

2020年度、むすびえさんと「鹿児島の子ども食堂を語ろう」を共催した時。コロナ禍で「自分たちの活動の方向性は正しいのだろうか」と、各地域で悩んでいた私たちが「冷蔵庫にあるものでその日の晩御飯を作れる人たち」という例えで、価値付けてくれた湯浅さん。みんなで笑い、納得し、共感できた「一体感」が、私たちネットワークが一番求めていたものでした。中間支援の在り方を共に考え、いつも伴走してくれるむすびえの皆さんは立場は違っても「同志」だと感じています。

かごしまこども食堂・地域食堂ネットワーク代表 園田 愛美



新型コロナウイルス対策緊急プロジェクト「こども食堂基金」は、支援の大きな支えとなりました。ひとり親家庭へのお弁当配布、楽しいプログラム企画「城跡でハロウィン探検」を実施し、コロナ禍でも繋がりを断つことなく笑顔に会える時間を持つことができました。また、シン・みつ企画ではいわてグルージャ盛岡とご縁もいただき、バックヤード見学と試合観戦もできました。今後も「結び会う」取り組みをよろしくお願い致します。

認定特定非営利活動法人インクルいわて こども食堂統括 川守田 栄美子



企業・団体からの支援

impact

企業・団体・個人の皆様からのご支援により、
数多くの子ども食堂への物資、資金支援を行うことができました。

物資支援



のべ
9000 団体に対し物資を仲介

*2億7000万円相当(売価換算)

資金支援



のべ
779 団体に総額**1億3000万円**助成

むすびえ・子ども食堂基金、マルエツ小口助成、休眠預金事業を通じて

\ いただいたご支援が、多くの子どもたちの笑顔に繋がっています /



ご寄付・ご支援いただいた企業・団体のみなさま



ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社 / ヒューリック株式会社 / ヒューリックふれあい基金 / まいばすけっと株式会社 (イオン) / 株式会社 WellGo / Benevity / 株式会社 京屋染物店 / 一般社団法人あおい福祉AI研究所 / 一般社団法人シェア基金 / 株式会社三陽商会 / 東京海上ホールディングス株式会社 / 東京海上日動あんしん生命保険株式会社 / ろうきんセントラル労働組合 / きらぼし銀行 / 株式会社 cielo azul / プリコラージュブレッド&カンパニー / ファンケルグループ / もっと何かできるはず基金 / B級グルメ研究所 / 一般社団法人 NS Labo / 大丸松坂屋 / M'sリビング / YAKK株式会社 / 一般財団法人お好み焼アカデミー / 一般社団法人 社長メシ基金 / 学校法人 医学アカデミー YTL 事業部 / 株式会社 CloudNine / 株式会社 quintet / 株式会社シーエスコミュニケーション / 株式会社矢島不動産管理 / 株式会社政和工業所 / 一般社団法人日本探偵士会 / 株式会社姫路商工 / 株式会社太陽技研ホーム / 有限会社エコネットワークス / ディライトコンサルティング株式会社 / 味覚のギャラリー株式会社 / Benevity (Veeva・HarbouVest) / パインブリッジ・インベストメンツ株式会社 / 株式会社ハズカンパニー / 株式会社ブックオリティ / オリオン産業株式会社 / Benevity (Google) / 株式会社協同 / 株式会社 MineTree / 株式会社ウエムラデザイン / 有限会社建匠エンジニアリング / 株式会社 Engate / 株式会社 LiHaSu / 株式会社 インサイド / 株式会社ゼロワンパートナーズ / 株式会社はやし / 株式会社カラダノート / 川崎いのちの電話 / 株式会社共創技研 / 修進建設有限会社 / 合同会社モリタ / 一般社団法人日本こども成育協会 / 株式会社 FarmTable / 株式会社アクティブポ / 株式会社ホームシステムズ / キッチンメルノ / 合同会社コトノハ / ale 建築構造設計事務所 / 一般社団法人 loops / 近藤住設 有限会社 / 合同会社ワールドバース / 有限会社 曙商事 / 株式会社 solid / GN エスコート株式会社 / Smile Story 株式会社 / グラススタジオブルー / 合同会社山田陽明堂 / 有限会社 志縁塾 / 株式会社 ILACQ / 株式会社メガスポーツ / Graspy International 株式会社 / mijas. / Y note 株式会社 / 合同会社エフオプティ / 有限会社アートスペース

物資支援企業の一覧

株式会社 朝日新聞社 / 江崎グリコ株式会社 / ENEOS 株式会社 (旧 JXTG エネルギー株式会社) / 株式会社エフピコ / 一般財団法人 お好み焼アカデミー / カゴメ株式会社 / 株式会社神戸物産 / 在トルコ日本国大使館 / ゼスプリ インターナショナル ジャパン株式会社 / 全国農業協同組合連合会 / 大正製薬株式会社 / 株式会社 大和 / チロルチョコ株式会社 / 東海テレビ放送株式会社 / 東京都福祉保健局 / 日本園芸農業協同組合連合会 (日本みかん農業事務局) / ネスレ日本株式会社 / ハウス食品グループ本社株式会社 / はごろもフーズ株式会社 / 富士フィルム株式会社 / ポッカサッポロフード & ビバレッジ株式会社 / 株式会社 Mizkan Holdings / 森永製菓株式会社 / 株式会社ヤクルト本社 / ライオン株式会社

応援してくださっている みなさま

Voice of Support

むすびえの運営は、ご寄付によって支えられています。また、多岐にわたるプロジェクトには、プロボノやボランティアが参画してくださっています。寄付者やボランティアは「こども食堂の支援を通じて、誰も取りこぼさない社会をつくる」メンバーです。

三菱商事は、「こども食堂の支援を通じて、誰も取りこぼさない社会をつくる」というむすびえの想いに共感し、2025年までにこども食堂を全国2万カ所に増加させるためのプロジェクトへの支援を開始しました。また、こども食堂について正しく理解するために社員向けセミナーを開催、こども食堂での社員のボランティア参加促進に取り組んでいます。こども達が安心して笑顔で過ごせる場が全国に増えることを願っています。



三菱商事株式会社
サステナビリティ・CSR部
国内CSRチームリーダー
国兼 康男 様

むすびえさんには、私どもが展開する、オーラルケアを通じて社会や環境課題に取り組む活動『インクルーシブ・オーラルケア』の体験プログラム開発や普及策のご相談、こども食堂のご紹介などで、ご協力をいただいております。ダンスやゲーム、歯ブラシデコレーションなど歯と口の健康にちなんだプログラムを多くの子どもたちに体験してもらい、正しいオーラルケアの習慣化や、自己肯定感の向上に貢献できることを期待しております。



ライオン株式会社
ビジネス開発センター
ディレクター／副主席部長
櫻田 航太郎 様

新型コロナウイルス感染症の影響で困難な状況が深刻化する中、子どもの「食」に関する支援を行いたいという思いから、2020年12月に「イオンこども食堂応援団」を発足しました。全国各地のこども食堂とネットワークを持つむすびえ様と、全国に店舗を展開するイオンのパートナーシップのもと、各地域のこども食堂とイオン店舗を拠点とした支援を通じて、共助の絆で結ばれる地域コミュニティづくりに取り組んでまいります。



イオン株式会社
環境・社会貢献部 部長
鈴木 隆博 様



2020年度 活動計算書

2020年4月1日から 2021年3月31日まで

05

musubie

Annual Report 2020

科目	金額	小計・合計
A 経常収益		
1 受取会費		65,000
正会員受取会費	65,000	
賛助会員受取会費	0	
2 受取寄附金	404,471,760	404,471,760
受取寄附金	404,471,760	
施設等受入評価益	0	
3 受取助成金等	185,893,552	185,893,552
受取補助金	185,893,552	
4 事業収益	26,145,829	26,145,829
① 運営者に対する運営基盤強化支援事業	22,283,040	
② 中間支援団体に対するネットワーク構築事業	565,880	
③ 運営者および支援者に対する研修事業	0	
④ 食堂支援者に対するコンサルティング事業	2,654,860	
⑤ 普及啓発事業	354,129	
⑥ 調査研究事業	287,920	
5 その他収益	641,803	641,803
受取利息	671	
為替差益	302,102	
雑収入	339,030	
経常収益計		617,217,944
B 経常費用		
1 事業費	19,591,283	19,591,283
① 人件費	19,569,518	
給料手当	0	
役員報酬	21,765	
法定福利費		
② その他経費	189,979,500	
売上原価	921,807	
業務委託費	35,335,479	
謝金	1,729,000	
食料品購入費	1,169,917	
印刷製本費	134,621	
会議費	27,373	
交際費	4,000	
旅費交通費	2,079,237	
通信運搬費	107,910	
消耗品費	31,932	
賃借料	96,309	
租税公課	16,600	
研修費	140,500	
支払手数料	3,188,358	
支払い助成金	135,679,737	
支払い寄付金	5,780,000	
新聞図書費	1,850	
広告宣伝費	3,252,000	
システム関連費	9,300	
催事費	273,570	
事業費計	209,570,783	209,570,783
2 管理費	12,437,794	12,437,794
① 人件費	2,400,000	
役員報酬	9,543,927	
給料手当	493,867	
法定福利費		
② その他経費	37,367,707	
業務委託費	3,996,132	
謝金	103,500	
印刷製本費	242,477	
会議費	1,146	
旅費交通費	179,278	
通信運搬費	244,788	
消耗品費	123,101	
地代家賃	442,244	
賃借料	66,528	
諸会費	116,700	
租税公課	7,383	
研修費	51,900	
支払い手数料	31,772,730	
システム関連費	19,800	
管理費計	49,805,501	49,805,501
経常費用計	259,376,284	259,376,284
当期経常増減額 [A]-[B] ...①		357,841,660
C 経常外収益		
固定資産売却益	0	
過年度損益修正益	1,114,210	
経常外収益計		1,114,210
D 経常外費用		
固定資産売却損	0	
災害損失	0	
過年度損益修正損	0	
経常外費用計		0
当期経常外増減額 [C]-[D] ...②		1,114,210
税引前当期正味財産増減額 ①+② ...③		358,955,870
法人税、住民税及び事業税 ...④	491,500	
前期繰越正味財産額 ...⑤	15,068,935	
次期繰越正味財産額 ③-④+⑤		373,533,305

財務報告

Financial report

2020年度 貸借対照表

2020年4月1日から 2021年3月31日まで

科目	金額	小計・合計
A 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	382,190,951	
棚卸資産	680,553	
立替金	61,418	
前払費用	264,011	
未収入金	990,000	
仮払金	102,980	
流動資産合計 ...①		384,289,913
2 固定資産		
(1) 有形固定資産	0	0
(2) 無形固定資産	0	0
(3) 投資その他の資産		8,642,020
食べる・遊ぶ・笑う子ども食堂基金特定資産	6,500,000	
さくらプロジェクト基金特定資産	2,000,000	
差入保証	142,020	
固定資産合計 ...②		8,642,020
[A] 資産合計 ①+②		392,931,933
B-1 負債の部		
1 流動負債		
未払金	638,692	
未払費用	15,553,072	
未払助成金	2,308,489	
前受金	20,900	
預り金	385,975	
未払法人税等	491,500	
流動負債合計 ...③		19,398,628
2 固定負債		
長期借入金	0	
固定負債合計 ...④		0
負債合計 ③+④		19,398,628
B-2 正味財産の部		
前期繰越正味財産額	15,068,935	
当期正味財産増減額	358,464,370	
正味財産合計		373,533,305
[B] 負債及び正味財産合計 [B-1]+[B-2]		392,931,933

役員

理事長 湯浅 誠 (社会活動家/東京大学特任教授)

理事 藤田 淑子 (一般財団法人社会変革推進機構)
釜池 雄高 (子ども食堂ネットワーク事務局長)

監事 稲村 有人 (弁護士)

次期繰越金については、2021年度にて、子ども食堂基金(助成事業)、地域ネットワーク支援事業等にて執行する事を理事会にて承認済

メンバーからの
メッセージ

from MUSUBIE members

Thank you for
your support!2020年度も様々なプロジェクトで、多くの方々にご支援・ご協力いただきました。
プロジェクトに関わるむすびえメンバーから、感謝を込めたメッセージです。

様々な形でのご支援、
ありがとうございます。
むすびえの活動を通して、
全ての人が自分らしく
生きていける基盤づくりを
これからも進めていきます！



事業サポート部門（総務人事・会計経理）

穴戸 華鼓

shishido hanako

地域とともに生きることの
豊かさを子ども食堂に
教えてもらい今があります。
コロナ禍にあっても
繋いだ手を離さず
繋がり続ける子ども食堂を、
ともに応援し
未来を開いていけることに
心より感謝しています。

子ども食堂の現状&困り事アンケート
休眠預金事業／対話共創

渋谷 雅人

shibuya masato

子ども食堂は、多くの人たちの
「善意」が集まる場所です。
だから、気持ちのいい場所
なのだと思います。
みなさまからいただいた思いは、
子ども食堂を運営する人たちに
介して、たくさん子どもたちに
つながっています！！



理事

釜池 雄高

kamaike yutaka

いつも様々なご支援を
本当にありがとうございます！
こどもと地域の可能性を広げる
子ども食堂の魅力を、
もっとたくさんの方に
伝えられるよう、
これからも頑張ります。



イオン子ども食堂応援団

阿久津 遊

akutsu yu

いつも「子ども食堂」に
想いを寄せて頂き、
ありがとうございます！引き続き、
応援宜しくお願いします！

防災／地域ネットワーク団体支援
マルエツプロジェクト等企業連携

森谷 哲

moriya satoshi

おひとりおひとりからのご支援、
「むすびえにはこんなに
仲間がいるんだ」と、
とても心強く思っています。
心からありがとうございます。



事業サポート部門（総務）／グリーゾーン調査

六鹿 篤美

mutsuga atsumi

ご支援ありがとうございます。
みなさんと一緒に
誰も取りこぼさない社会を
つくっていきたいと思っています。



広報・ファンドレイジング (遺贈寄付)
瀧田 真理

takida mari

いつも応援して頂き、
ありがとうございます。
皆様の想いをこども食堂に
届けるため、日々頑張ります！



全国こども食堂絵画展
佐甲 かほ子

sako kahoko

こども食堂を営む人。
活動を支援する人。
想いを持って
アクションを起こす皆様に
本当に尊敬しています。
これからもよろしくお祈りします！



デザイン全般
和田 直也

wada naoya

IT機材支援プロジェクトを通じて、
全国40軒以上のこども食堂と
繋がることができました！
感謝です。



IT機材支援
工藤 昌之

kudo masayuki

この一年、
コロナは大変でしたが、
たくさんのあたたかい思いに
触れさせていただきながら、
活動を進めることができました。
其々のこども食堂は小さな活動、
こども食堂を支援する私たちが
立ち上げて3年という
若い団体です。
そんな私たちに実行力
をつけてくださったのは、
お気持ちを寄せてくださる
皆様です。



広報・ファンドレイジング統括責任者
休眠預金事業/こども食堂基金/戦略プロジェクト

三島 理恵

mishima rie

様々な形でのご支援をいただき、
心より感謝申し上げます。
皆様の想いをこども食堂に
届ける活動に、
日々努めてまいります。

アストラゼネカ Young Health Project
関 弥生

seki yayoi

ご支援ありがとうございます。
こども食堂のことを
より多くの人に
知っていただくため、
今後ともがんばっていきたく
思います。



グリーゾーン調査
山角 直史

yamakado naofumi

いつもあたたかなご支援を
ありがとうございます！
一緒に、社会をよりよい場所に
していきましょう！



広報・ファンドレイジング (マンスリー寄付)

大沼 楽

oonuma gaku

...And more!



理事長からのメッセージ

Message from Makoto Yuasa

子ども食堂およびむすびえの活動にご理解・ご協力いただいている皆様、いつも本当にありがとうございます。ここに「むすびえ活動レポート2020」をお届けします。

2020年は世界史に残る一年となりましたが、むすびえにとっても大きな変化の一年でした。新型コロナウイルスは、お互いに距離をとるよう人々に強い圧力をかけましたが、その力は同時に「だからこそ、つながりたい」と人々の気持ちを奮い立たせることにもなりました。それを行動で示した代表格が、子ども食堂の人たちだったと私たちは受け止めています。約半数の子ども食堂が、活動形態を変えてでも人々とつながろうと尽力されました。

むすびえは、その子ども食堂の人たちの奮闘を応援すべく、活動してきました。居場所の再開、物資の仲介、資金の支援、感染症対策のノウハウ伝授……大規模に展開するプロジェクトから、参加者の気持ちを大切にできる小規模のミーティングまで、力不足は明らかだったものの、あらゆるテーマや手法について私たちの考えつくかぎりでのサポートをすべて行ってきました。本レポートは、その軌跡を記しています。

コロナ禍に向き合う私たちの基本姿勢は「今日をしのぐ、明日をひらく」でした。厳しい中でも子ども食堂の灯火が細らないよう今できることを行いつつ、それが同時に明日（未来）を切り開くタネとなるよう、意識してきました。実際、コロナ禍を契機につなげた企業や行政との連携・協力関係は今後生きるでしょうし、生かしていかなければなりません。

万が一5年後にまた大規模災害があったとして、そのとき自治会も高齢者の居場所も、お寺もコンビニも、ふだん「つながり」を重視している人たちが、今回の子ども食堂のように食材・弁当配布を行ったら……私たちの社会はきっともっと「大変なときにはみんなで支え合おう」という雰囲気になったあたたかくてやさしい社会になるのではないか——そんな未来をみなさんと一緒に思い描けることを願っています。

認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ 理事長

湯浅誠

社会活動家、東京大学 特任教授



むすびえについて

About "musubie"

ロゴに込めた思い



私たちは、「地域ににぎわいをつくりたい。そして、そこからこぼれる子どもをなくしたい」という思いで、全国子ども食堂支援センター・むすびえを設立しました。その思いを少しでも共有してくださる方が、ここで結び会って欲しいという思いを込めて「むすびえ（結び会）」と名付けました。

むすびえのロゴには、「子ども食堂」「子ども食堂の支援者」「未来の子どもたち」が結ばれ、彩のあるやさしい未来をつくりたいという思いを込めています。

むすびえとSDGs

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

SDGs（持続可能な開発目標）は、2015年9月に国連加盟国193カ国が全会一致で採択した行動計画。貧困や福祉、持続的なまちづくりなど17の目標からなり、2030年までに目標を達成することを目指しています。

むすびえでは、SDGsが掲げる17の目標のうち、6つに貢献します。



(ご参考) 湯浅誠「孤立する人のいない“にぎわい”をつくる 子ども食堂とSDGs」
<https://news.yahoo.co.jp/byline/yuasamakoto/20190409-00121364/>

むすびえを通じて、子ども食堂支援の輪にご参加下さい!

● 寄付で参加する

クレジットカード、振込、古本、Tポイント、遺贈によるご寄付など多様な方法があります

● むすびえボランティアになる

プロジェクトリーダー、イベント運営などのプロボノ・ボランティアを募集しています

\\ 詳細はHPへ! /



認定NPO法人 全国子ども食堂支援センター・むすびえ

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-20-3 西新宿高木ビル7階

TEL 03-4213-4295

E-mail kodomo@musubie.org

Webサイト <https://musubie.org/>

むすびえ

検索

子ども食堂、むすびえに
関する情報を

ほぼ毎日更新中!



Vision

こども食堂の支援を通じて、
誰も取りこぼさない社会をつくる。

Mission

こども食堂が全国のどこにでもあり、
みんなが安心して行ける場所となるよう環境を整えます。
こども食堂を通じて、多くの人たちが
未来をつくる社会活動に参加できるようにします。

Action

私たちは、誰もとりこぼされない社会を
日本でつくりたいという思いを持って活動をしています。
各地域のこども食堂ネットワークを支援すること、
何か社会に貢献したいと考えている企業・団体とつながりこども食堂へ支援を届けること、
調査・研究をし、啓発をしていくこと。
私たちは、3つの軸で、歩んでまいります。



NPO法人 全国こども食堂支援センター

むすびえ

2020年度活動報告書

発行

認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ